

事務事業点検シート

公民館運営管理事業

施策名		生涯学習の推進					
1	事務事業名	公民館運営管理事業			担当課	生涯学習課	
委員名		御意見等					
川西会長		1. 公民館は市民によって積極的に利用されることに価値がある。よって、利用の質と量を高めることが重要な目的となるべきである。 2. シートには、成果指標として、①利用者数と②修繕件数とが挙げられている。①利用者数は指標としては妥当だが、目標値が横這いとされており、人口増加中の本市としては、数値が不適切である。②修繕件数は目標自体が不適である。 3. 公民館を訪問すると、利用されていない部屋、時間帯をよく見かける。当然空室率の改善を目指すべきである。利用の障害になっている理由を調べ、例えば、手続きの簡素化や、少人数での使用も認めるなどの、検討をすべきである。 4. いずれにしても、利用の質と量の向上を目指して取り組みを進め、成果指標を適切なものに置き換えるべきである。					
吉田副会長		平成29年度指定管理者評価の公表までの暫定評価といたします。 マネジメントシートの指標を部屋の稼働率などではなく、施設の修繕件数としていますが、評価の軸（成果）を全く理解していないと考えられます。 直営から指定管理に移行しての活動実績の比較が不明なため、現時点では明確な評価は困難ですが、北守谷公民館等での利用経験からすると、接遇や業務処理は格段によくなったと感じます。					
牛島委員		施策名は「生涯学習の推進」であるにもかかわらず、維持管理だけを目的とした事業のようである。よって施策への貢献度は低とする。					
松尾委員		評価指標が、延べ利用者数、施設の改善件数となっているが指定管理者の運営状況把握には評価指数が足りない。施設利用率等の実態数字も把握しているようであり、第三者の当該事務事業評価が充分可能になるよう評価指標を増やしていただきたい。					
西尾委員		提出されたマネジメントシートには、利用者数は施設全体の延べ人数しか表示されておらず、開催されているイベント等への参加者数などは分らない。 おそらくイベントや講座ごとにも参加人数は集計されており、これらを目に見えるように比較することで、市民の利用率向上のヒントにもなると思う。 また、各公民館の比較などもすべきと感じた。					
		川西 会長	吉田 副会長	牛島 委員	松尾 委員	西尾 委員	合計
施策の貢献度		2	3	2	3	4	14
事業の必要度		5	5	5	5	4	24